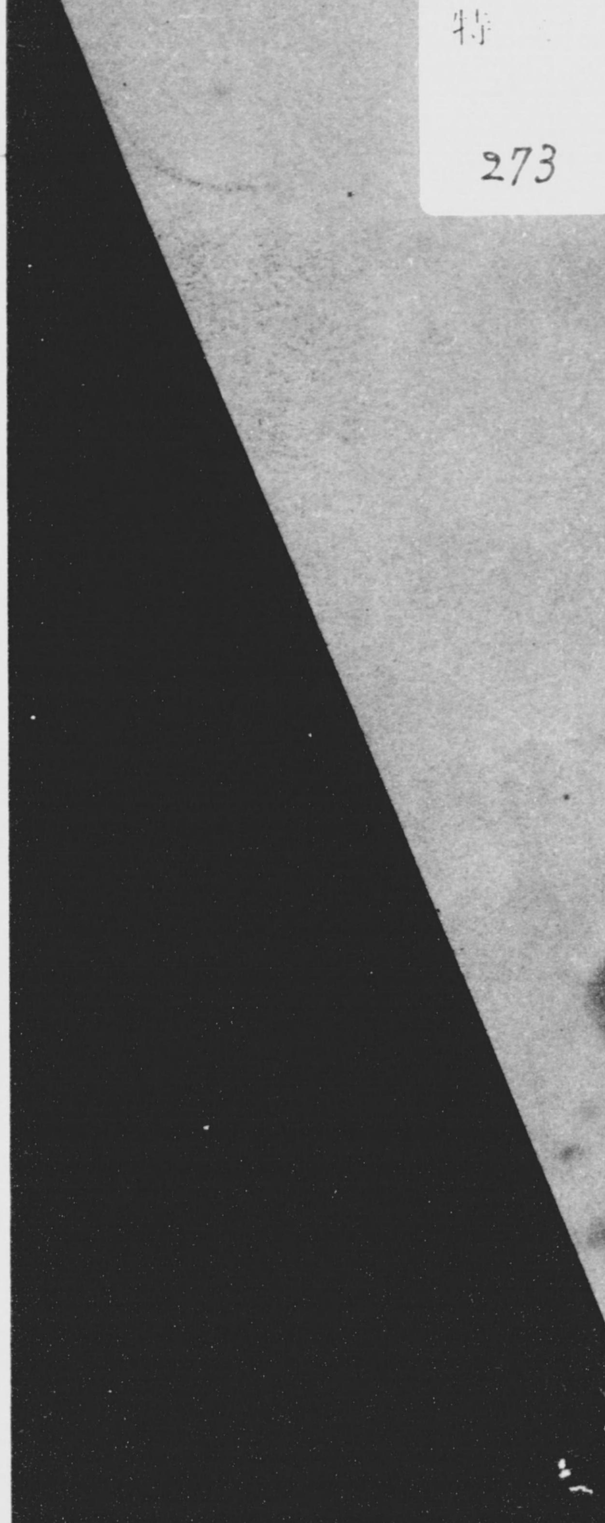
今回來朝したる米國名士〇〇〇〇〇氏講演

米國を動かす猶太の勢力

―日米關係に對する一考察―



今回來朝したる米國名士〇〇〇〇〇〇氏講演

米國を動かす猶太の勢力

―日米關係に對する一考察―

◇表紙の空色は猶太の固有色、赤色は猶太人世界統御の色、合して猶太の全貌を表はし、日の丸を之に對置したのは日本精神を以て世界擾亂の根本を芟除するの意を寓したのである。

今回來朝したる米國名士〇〇〇〇〇氏講演

米國を動かす猶太の勢力

（日米關係に對する一考察）

國際政經學會

序　文

　ある日〇〇省の友人から電話で「いま米國から〇〇〇〇〇氏が來朝している。この方は今は實業界に居られるが、元は役人もし、又大學教授もされて誠に正しい憂國の志士である。處で今日或る會合で同氏から米國に於ける猶太人の行動についての一端を伺つて非常に興味深く思つた。そこで政經學會でも一つ同氏に御願ひして一席御話を聽いてはどうか」との事であつた。

　これは願つてもない事で、今迄米國や英國の知名の人に猶太人の行動について所見を聽いても、其の話しが洩れると直に迫害されるので口をつぐんで中々其の眞相は語らない。そこで今來朝の某氏から若し

忌憚なき所感が伺へればありがたいと云ふ譯で早速一夕の御懇話を願つたのである。

處が、幸ひ快諾されて明日出發歸國と云ふ前夜同氏から親しく拜聽したのが此の速記である。

此の速記を御讀了なれば分る事であるが、今米國で猶太人の活動の眞相を語れば大抵心臟病で斃れる（毒殺の意か）のである。そこで此の御話しの前に、話者たる同氏の事は嚴秘にする御約束をしたのである。從つて同氏に關する事は御紹介致し難いのである。

今勃發している支那事變は單なる日支單獨の紛爭ではなく、其の原因が明に猶太の活動に起因する。支那事變の發展は正しく支那に於ける日本と猶太の相剋を如何にして解決するかと云ふ事に係つて來る。

猶太問題は遠い歐米の問題ではなく現前の事實である。

今世界商工業資本の二分の一强を保有して歐米の金融界を牛耳り、日、獨を除く言論通信機關の九割を專有して世界報導權を握れる猶太勢力の眞相を識らずして政治外交經濟を語る事は到底不可能である。

切に讀者の一層の研鑽を望む次第である。(增田)

昭和十二年八月

國際政經學會

今回來朝したる米國名士〇〇〇〇〇氏講演

米國を動かす猶太の勢力

（日米關係に對する一考察）

目次

◇序文　國際政經學會（I）
◇紹介の辭　宇都宮希洋一
〇國際政經學會の使命並に生命……二
〇國際政經學會の要望……五

○猶太人がアメリカを征服した事實を……………… 九
○アメリカに於ける猶太人の數……………… 一〇
○猶太人のアメリカ征服は新聞から……………… 一一
○アメリカのボルシエヴイズム・リーダー……………… 一三
○米國人の事業奪取の爲めのストライキ……………… 一五
○勞働長官はボルシエヴイズムの味方……………… 一七
○金銀獨占工作が著々進められて居る……………… 二〇
○猶太人の犯罪は記錄に止めない……………… 二四
○反猶太主義の名士は怪死する……………… 二五
○オリンピック東京大會を怖れる……………… 三一
○猶太人の打つ手と二重政策……………… 三三

○猶太人は戰爭で儲けるが軍人には不適……三九
○宗教改革の眞相……四〇
○アメリカの將來……四一
○何故今迄此の問題が喧しくならぬか……四二
○アメリカは猶太人をどうするか……四三
○猶太人の最大弱點……四五
○猶太教は惡魔の教である……四八
○日本の正義の力は最も強い……五〇
○日米親善の大道……五四

○猶太人は英國の政治樞機を握つて居る……五六

紹介の辭

於　國際政經學會懇話會
宇都宮希洋

（前略）

私は實は昨日初めて或る筋からの御紹介で先生にお目に掛つて御話しを夫等の人と伺つたのでありますが、其の時の印象と只今一寸御伺ひしました所に依ると、亞米利加に於ても此の猶太人の問題は米國の愛國的識者の間には非常に重大なる問題と成つて居る事が分り、且先生が此の問題に關しては深く研究もされ、又色々な研究機關に關係を有つて居られるやうに推察されるのでありますが、然し、實は昨日の寄り集りは我々研究者連の外に色々の人が居たものでありますから、大分遠慮なさつて居られたやうでありますので、今日は、殊に日本と亞米利加の親善關係を増す上に、其の基本問題としてどうしても此の問

題が非常に關係を有つものであると私も考へて居り、又、先生も恐らくさう御考へのことでありませうから、昨日と違つて今日は忌憚なく御話願へるだらうと存じます。

そこで私は此の際先生に、私が御集りの皆様を代表しまして、御紹介旁々此の會の性質に付て御話をして置く様にと會の方からの御希望がありましたので、一言したいと思ひます。

○國際政經學會の使命竝に生命

此の會は全くプライベートなものであつて、何等公けの機關ではありませぬ。此の會は吾々の間に、日本民族の自衛本能上出來た會でありますが、之をば近來日本人の間でも、何だか一種の犧牲的研究機關、或は調査機關であるが如くに言ふ人がありますが、それは犧牲的と云ふよりも更に切實な感じの結果出來

上つたので、猶太問題の重大性を國民に警告しようといふのが、此の會を作つた眞の目的であります。

隨つて此の會は何等他から命令を受けて出來たものでもなく、又他から何か援助を受けてやつて居るものでもない、全く純然たる會員の協力に依つて、自發的に生れたものであります。

また是は非常に永續性の有るものであります。此の頃歐洲邊りでは全體主義といふことを言はれて居りますが、日本に於ては全體主義のもう一つ上の機構を現に具有して居て、要するに、其のフアミリーの一番の中心が即ち皇室であるといふ、是は全く世界に於て無比の强さを有つものであつて、此の點は特に先生に諒解して貰ひたいのであります。この民族的精神は、是は決して空論ではなく、此處に居る皆の者は本能的に吾等は一つのフアミリーに屬するものだと云ふ感じを有つて居ります。一例を言へば私の家に傳はつて居る所の記錄

に依れば私の家は、今の近衞公爵と同じファミリーたる藤原氏に屬するといふ風に、それ〴〵手繰つて行けば皆一家族である。それは議論でなくて、事實であります。だからさういふ本能を皆有つて居るといふことは、是は他の國に於て見るやうな、宣傳機關や何かで宣傳した空のイデオロギーに依る團結とか何とかいふものではないのであります。卽ち遠き過去からの實在である故非常な力强さがあるといふことを諒解して貰ひたいのであります。

そこで吾々の此の運動も日本民族の本能であつて、例へば動物界に於ても鶴の如き高尙な鳥は必ず、群中の一羽或は數羽が始終見張りをしたり、警戒をしたりするものがあり、又其の他のものでも警戒を全般に傳へるといふ本能を有つて居る。吾々の運動も斯ういふ性質のものであるから永續するものであります。

殊に日本に於ては正義が行はれて居るから、或る意味に於ては是は永久の生

命を有するものであると言つて宜しいのであります。日本では個人主義の發達した所謂自由主義の國家に於けるやうな、政府をば言論機關が大衆の名に依つて壓迫してどうするとか、曲つた方向に持つて行かれるといふやうな事例は萬々ないのであつて、眞理、正義が結局何時でも行はれるといふのが吾々日本國民の誇りでありますから、其處のところは能く外國の人達に諒解して貰はねばならぬと思ひます。

○國際政經學會の要望

次に此の會のメンバーに付て一寸申上げますと、○○さんの如きは猶太問題を研究し始められてからもう二十五六年にもなりますし、私自身も此の問題には十八年前に著眼したものであります。是は今のヒトラーの排猶運動などがまだ日本には何等知られて居ない時代に始めたものであります。吾々は今は歐洲

で論ぜられて居る猶太人のイデオロギーとか秘密の運動等に付ては大體承知して居ります。殊に向ふの研究者の書いた本であるとか、或はさういふ事に關する機關に付ても相當研究してゐるつもりであります。

所で吾々が問題の深刻さを知つた結果起る惱みといふものは、其の對策の前に、先づ之を如何にして日本人に了解させるかといふことであります。猶太側の逆宣傳の方が行き渡つて居て、吾々の方からは常にその證據を提供しなければどうしても今の日本人は之を信じ得ない。過去の事實の經過を分らせるやうに、其の問題に付てうまく說明をしないと日本人はどうしても了解しないのである。

そこで本日はイデオロギー的な、理論的な猶太問題は先づ差措いて、手取り早い具體的の事實に付て吾々に教へて戴きたいと思ひます。

それから本日此處に集まつて居りますメンバーは、皆責任を重んずる方々ば

かりである、本當のゼントルマンばかりでありますから、此處で聽いた事によつて、先生が亞米利加へ歸られてから後に、御迷惑を御掛けするやうなことは斷じてありませぬ。

吾々は先生を非常に貴重なる存在であることを認めて居るのでありまして、先生に對する安全性を出來るだけ確保するといふことは吾々が責任をもつて實行致すことでありますから、その點御安心を願ひたい。だから今日は一つ徹底的に先生の御考へになつて居る所を腹藏なく、又先生の知つて居られる所の事實に付て御述べを願ひたいと思ひます。

尙ほ又それと同時に、東京に吾々の斯ういふ會があるといふことは、信賴出來る研究機關以外には知らさないやうにして戴き、同時に又將來は確實なる資料の提供を願ひ、又信賴出來る研究機關に付ては進んで之を知らせて戴きましてそれ以外のことは極秘にして貰ひたいと存じます。(後略)

以上

讀者は我國の猶太對策上此の書の內容を外國人（日本在住の外國人の九割は猶太人なり）に話されざる事を望む

今回來朝せる米國名士〇〇〇〇〇氏の講演

米國を動かす猶太の勢力

日米關係に對する一考察

昭和十二年七月三日於丸ノ内永樂クラブ

國際政經學會懇話會

〇猶太人がアメリカを征服した事實を

今晩は私は安心して御話したいと思ひます。尙ほ今晩は此の問題の沿革とか、歴史とかいふやうな話はしないで、主として猶太人が如何に亞米利加を征服したか、又征服しつゝあるかといふことに付て御話を致したいと思ひます。

註　人種的憎惡感を避けんとする

○アメリカに於ける猶太人の數

亞米利加に猶太人がどれ程居るかといふことは分りませぬが、彼等自身は五百萬だと稱して居ります。併しはつきり分りませぬが、吾々は八百萬乃至九百萬だと思ひます。人口調査といふやうな場合に於ては、彼等は猶太人は人種でなくて宗教團體であるといふことを言つて、うまいこと逃げて居ります。所がさういふ風にうまいこと言逃れをして猶太人たる事を秘している彼等自身が猶太人は非常に優秀な民族であるといふことを唱へて、書物まで書いて居ります。スミソニアン・インスチチユートでは猶太人は矢張り宗教團體であると言つて居りますが、ジユーイッシユ・エンサイクロペジアに

註　即ち民衆の輿論を支配せんとしてゐる

は猶太人は非常に有力な民族であるといふことを誇つて居ります。

○猶太人のアメリカ征服は新聞から

猶太人は歐米何れの國でも先づ金融界の王座を握り、それから工業都市を支配することに進出して來ました。そして次に資本に依つて新聞を支配して來るやうになりました。

又、猶太人は實業方面に非常に進出して來て、米國でも紐育其の他の大きな町では、新聞廣告の八十パーセントは猶太人が之をして居ります。

彼等は亞米利加では新聞を全部コントロールして、さうし

て小賣商賣の方面に於ても非常なる勢力を伸して居ります。銀行や商業方面は猶太人は大體此を征服して仕舞いました。

最早や空いて居る位置はないので今後は彼等は主として政界に進出しなければならぬといふ情勢になつて居ります。それで新聞の編輯には猶太人を賞讃するといふ態度を執つて居ります。數年前までは猶太人の勢力を表面に立てるといふことを非常に恐れて居つたのでありますが、併し始終どういふ米國政治家が猶太人と親交があるかといふことを調査して居つて自然新聞がさういふ人達を表面に推薦するやうな工合に仕向けて行き、特に歐洲大戰後は猶太人の政界進出が段々露骨になつて來て居ります。

然し、猶太人黨と云つたやうなものでは勝つ見込がありま

せぬので、民主、共和の兩黨に籍を置くと共に所謂勞働黨といふやうなものを組織して、それに依つて勞働者の投票を得やうといふ風な方針で進んで居ります。

猶太人は移民問題に付ても非常な勢力を有つて居ります。

○アメリカのボルシエヴイズム・リーダー

アメリカの過激運動は總て猶太人の指導する所でありますそしてさういふ方面の人達は、猶太人と合體しないと危害を加へるといふ風な、ギヤングを利用してまでやつて居ります。

サンフランシスコに於ける仲仕のストライキは墺太利から來た「ハリブチエス」が指導して居ります。

今茲に猶太人の勞働運動指導者の名前を擧げて見ますなら

ば、

波止場人夫の指導者はサンフランシスコではジヨセフ・ライアン、

東部ではガリキシユタイン、

自動車ストライキの指導者はフランキンスキン、

航空輸送ストライキの指導者はエードルマン、

官吏ストライキの指導者はアロンキヤツ、

タキシーのストライキはジヨセフビユーズ(シカゴ)ボルチモアのコーヘン、

農民組合の指導者はレーマン(カルフオルニヤ)

婦人運動のアヂテーターはヒレンブランク、

工業組合のストライキ、C・I・Oの製鋼事業のストライキ

註　猶太運動は常に二樣の道から進んでゐる。一は破壞行動で其の國の傳統と其の國人の富力を弱める事である。ボルシエヴイズムの如き其の手段である。又自由、平等博愛の美名の下に自由主義を呼號して世界を風靡さしたのは、

には、猶太人でないが、二人の指導者が表面に立つて居ります。ホーマー・マーチン、ジヨン・ルイスで、併し祕密の指令者は猶太人でシドニー・ヒウマン、是は亞米利加では何時もやることであつて、猶太人の運動となると民衆が加はらないから、猶太人でない者を先づ躍らして、さうして略々組織が出來ると、それを止めさしてそれを牛耳るといふやうな方法を取つて居ります。多くの勞働者は是等の二人の者が赤だといふことを知らないで居るが、背後に居る者は明瞭に赤である。

○米國人の事業を奪取の爲めにストライキを

亞米利加に於て今尙米人の手中にある主なる企業といふものは、先づ大體海運業、自動車業、スタンダード・オイル、そ

れから電話事業、電氣事業、製鋼事業等でありますが、是等の事業以外のものは皆猶太人がやつて居ります。そして猶太人は之を陷落さす爲に右の企業に攻撃目標を定めて居る譯であります。

總てのストライキの背後には猶太人が居るといふことを反猶太人主義者が公表したのでありますが、所が事實さうでないといふことを示す爲に、猶太人のやつて居ります、ハリウツドのフイルム事業に對してもわざとストライキをやつた。であるからして、總てストライキは非猶太人だけを苦しめるものでない、即ち猶太人の仕業であるといふことをカムフラジユする爲にハリウツドの爭議といふもの起つたが、然し極く短く終つたのであります。

猶太人たる差別觀を撤去させ、且其の國の傳統並に結束力を弱めんとする方寸に出てゐる事は彼等の經典たるプロトコールに明らかである。

他の一は右の破壞行動によつて瓦解する富や力を其のまゝ受取つて世界の金融界、言論

機關並に政治界に於ける猶太人の力を益々強化せんとする行動である。

此の明暗兩極を心得なければ猶太問題は絶對に分らない。

亞米利加に於ける赤の指導者は猶太人で、それに苦しむ者は非猶太人である。

チウビンスキ運動の背後にあるのは赤であるが、プレジデント・ルーズベルトは彼等とは大變良い友達です。勞働聯盟から七萬八千弗を集めて西班牙に送つた。公々然と西班牙の共產黨に對して金を送つたことを非常に自慢して誇つて居ります。保守黨はルーズベルトに對してチウビンスキーの團體を解體することを要求した所が答へなかつた。

○勞働長官はボルシエヴイズムの味方

サンフランシスコの仲仕ストライキのリーダーはボルシエズムの人と一緒に演壇に立つて演說をしたが、是は亞米利加

の法律に反するものである。

所が亞米利加の法律に反したからとて、其の者を逡還することが出來ない。何となれば逡還は勞働省の管轄に屬するのであるが、勞働省の長官はフランシス・パーキンスといふ婦人で、而もそれは猶太婦人で其の本當の名前は分らない、其の夫の名はウヰルソンといふのださうでありますが、其の婦人の長官が逡還の權力を握つて居るからであります。だから逡還することは出來ない。詰りそれは猶太人を保護するからであります。

少し前にワシントン政府では局長にキヤザリン・クロツグを任命した。此の婦人は亞米利加に於けるソヴイエトの宣傳部長の妻君です。

共産主義的傾向の強い某大學の總長が最近政府の非常な要職に就いた。

紐育及イリノイス州の知事は猶太人であるが、是は米國の最も重要な州である。次に主要な州はペンシルバニヤであるが、その知事はアールと云つて、猶太人だといふ噂である。最近赤の勞働者達がストライキを企て、工場の前に立つて勞働者の出勤を阻止しようとした時に、此のアールといふ知事が、軍隊を此等の者の側に立たして保護した。而も新聞は此の赤化運動の記事を詳しく書かなかつた。それは一部の此の陰謀計畫が暴露されると、復讐的に工場をギャングの爲に打壞されるからである。

兎に角猶太人は勞働者の力を藉りて非常に勢力がある。政

府に於ても非常な勢力を有つて居つて、彼等の位置を得る爲に新らしい部署を悉く拵へ、又其の位置に就きつつあります。又政府に於ける猶太人の人員を殖やしつゝあります。之は歴史に徵して見るに獨逸に於ても佛蘭西に於ても亞米利加に於けると同樣の行き方であるのであります。

○金銀獨占工作が著々進められて居る

更に今一つの政策は、金と銀とをどん〳〵自分等の手に集めて、さうして政府に紙幣ばかりを發行させる事である。

南北戰爭の眞相といふものは餘り知られて居ないのでありますが、千八百六十一年にベンジヤミンといふ猶太人を大藏大臣に選んだ。そして今の亞米利加の大藏大臣猶太人モルゲ

ンソーと同じやうな手順で金を盛んに捲上げてしまつた。さうしておいて今度は紙幣を無價値にした。そこで人民が金を探した時には最早何處にもないといふ風なことであります。詰りそれが彼の南北戰爭に於て南方が倒れた原因で、猶太人が金を持逃げした譯であります。現在のモルゲンソー（財務長官）も同じやうな事をするのではないかと私は恐て居ります。

大戰直後獨逸に行つた經驗があるが、結局貨幣の安定を期する爲に金を集める必要があるといふので、盛んに金を集めた譯であります。即初めの貨幣制度でスッカリ金を集めておいて次に新らしい根抵の貨幣制度を立てる。そして其の差だけ即廿分の價値は元の二十分の一になつた。結局それが爲に其の十九は猶太人の間で捲き上げてしまつた。現在のモルゲンゲン

註　先般支那の幣政改革が英米猶太財閥の手で行はれて、支那の現銀は殆ど英米へ引取られ不換紙幣が支那人に渡された、そして其の紙幣の價値を英米猶太財閥が現銀同樣に吊り上げてゐるのである。これで、支那人には英米の援助

ソーも同じことをやるのではないかと恐れて居る。

　金の問題に付ては、千九百三十三年に世界の金の半分は亞米利加に集つた譯でありますが、之に付て猶太人は、是は吾々の貨幣を保護する爲に政府に預けて居るのであるといふことを言つて盛んに金を集めた譯であります。佛蘭西に於ても英吉利に於ても同樣のことをして、今や大部分の金は猶太人の手に入つて居ります。

　彼は金を集めた上で、二十億弗を以て外國の通貨を買ふことが許された。其の理由はドルの安定を期する爲である。そして議會に彼が要求したことは、此の金を使ふ爲には帳簿を拵へないこと、更に決議したことは口頭を以て一年一回大統領に報告するといふことである。元より之れは猶太人が議會

なければ紙幣は暴落するぞと云ふ威嚇が成功したのである。換言すれば英米の支那經濟獨占の一手段である。

　それが今日支那事變で、あれ丈け徹底的の混亂をしている支那の爲替相場に於ける紙幣價値が本年九月二十二日現在、正

金銀行建値支那百〇三圓3/4日本より三圓3/4方高値を維持してゐるのである。この馬鹿げた事實は我々が今迄習得した經濟學では解釋がつかない又、日本の對外爲替の價値は實に不當に安價である事から見て猶太人が爲替市場を支

を操つて斯うさせたのである。二十億弗といふ金高はどんな國の通貨をも粉碎するに足るだけの額である。例へば佛蘭西の政府に對して、借款契約する場合に於ても、紙幣のフランに對して金を與へる。どんな猶太系の政府に對しても此の手を用ひて居る。露西亞に對しても同樣な手筈で以てやつて居る。露西亞の金と米國の紙幣とを換へた譯である。勿論吾々は之をハッキリと證明することは出來ないけれども、併し吾々はそれ程にぼんやりでないのであるから、議會の決議から推しても、さういふことが自然推論出來るのである。金融逼迫は猶太系政府たる英國と佛蘭西と、露西亞とには爲になることで、獨逸、伊太利、日本の爲には苦しいことである。

而も尙ほ此の金の威力を以て亞細亞から銀を捲上げやうと

配する力を知ると共に此の對策を講ずる必要あがる。
日本の一志二片堅持に對する金現送は再吟味の要なきや。

いふ策に出て居るのである。これが支那の幣制改革に現れてゐるのであります。

○猶太人の犯罪は記錄に止めない

猶太人は年々歳々勢力を亞米利加に得て來て居るが、さういふ中でも猶太人の犯罪は記錄することは出來ない。どんな警察の帳簿にも猶太人といふことは絶對に書けないことになつて居ります。總て猶太人の常に主張する所に依れば、統計に依つて猶太人は犯罪を犯さない事が證明されて居ると。

併し大概のギャングは猶太人が協力して居るものである。又、魔窟はどの町でも猶太人が支配して居る。ギャングの記事なんかには亞米利加人と書いて居るけれども、併しそれは

註　アメリカのみならず英佛でも眞劍に排猶運動を起す者は大體何時の間にか心臟病で斃

亞米利加人と稱する猶太人のことである。大きな町では政治的勢力を利用して、猶太人は能く裁判官になる。殆ど半分は猶太人だといふやうな現象を呈して居る。だからして猶太人の犯罪者は猶太人の裁判官に裁かれて、時には罪惡が發見されるが、それが又許されることがある。

○反猶太主義の名士は怪死する

　ワシントンに於ける議會の大切な演説は新聞に書かない事がある。或る議員が、猶太人の問題は絶對に發表しないやうに主張し且若し言ひたければ、豫め自分に直接に云つて欲しいといふことを要求した。ある强硬な議員が敢然として猶太攻撃をやつた處止めろと警告されたが、之に屈せず主張し續

れてゐる。此の心臟病とは如何なるものかは讀者の察知さるゝ處であらうと思ふ。

けたので、彼は屢々警告を受けた。彼は選擧前に死亡したが、新聞は心臟疾患だと言つて居る。

上院議員のショウ氏は、猶太人のことを攻撃する目的で猶太人とは言はないで、赤、ボルシエヴイキといふ名を用ひて論じた。それをも止めろと注意されたが、彼は其の後もそれを續けた。其の後彼はタキシイにぶつ付けられて死んでしまつた。其の町の人は之のタキシイの運轉手は猶太人であると言つて居る。

以下斯の種の實例をもう少し述べて見る。

ヒウエーロングはボルシエヴイキに對する猛烈なる反對者であつて、彼は反猶太主義の旗幟を掲げて大統領候補に乗出すといふことが全米に知れ亘つた。それは亞米利加に於ける

反猶運動者に取つては非常なホープだつた。然るに彼は事務所へ行く途中、ワイズといふ猶太人にピストルで射殺された。

又カルヴィン・クーリッヂは千九百二十三年から千九百二十八年まで米國大統領に地位にあつたが、千九百三十二年の選擧前に、彼は心臟疾患で死んだ。

クーリッヂに次ぐ保守主義（講演者は愛國的反ボルシエヴイキを此の名で通稱す）の大人物はドワイトモロウ（リンドバーク夫人の父）でありますが、彼はメキシコ駐劄大使であつた時に非常な反ボルシエヴイキであつた。彼が若し昨年の選擧まで生き延びて居つたならば、彼は同じく心臟病で死んだであらう。

更に保守主義者中ではメリーランドの知事リチーといふ大

人物が殘つて居りましたが、彼は昨年全米を遊説旅行して、反ボルシエヴイキの趣旨を徹底させやうとした。彼は鐵道の切符を買つて明朝早く出發しやうとして居つたが、其の前の晩に寢た切りで死んでしまつた。

それから此の前のデモクラチツク・パーテイの指導者のウヰリアム・デニング・ブライアンは反ボルシエヴイキであつた。彼はボルシエヴイズムが亞米利加に入つた頃に反對したが、千九百二十六年に矢張り心臟病で死んだ。

オリムピツク委員長ロバートシヤリオは、猶太人が米國が選手を獨逸に送ることを反對して、即亞米利加だけを參加せしめないやうに迫つたのに對して、彼はそれに反對して猶太人を非常に怒らせた。之を知つた人々は、彼は必ず又心臟病

で死ぬであらうと前以て豫言することが出來た。彼は準備の爲に巴里に行つたのであるが、斯ういふことがあつてから二週間後に、巴里で心臓病で死んだと報ぜられて居ります。

紐育市の出納係に、猶太人でない所のカーニーグハムといふ者が選ばれたのであるが、彼は初めて登廳する途中、馬に乘つて行つたのであるけれども、落馬して死んでしまつたが、ドクターはそれを心臓痲痺で死んだと言つて居ります。

陸軍委員會の委員長マクツエン、彼は猶太人の自由黨の人と確執を生じて辭職して腹を立てゝ家に歸る途中死んでしまつた。

斯ういふ現象は前以て人が豫測すると何時も其のやうに死んで行く經路を辿つて居る。ショウ氏が議會で反猶太の演說

をした時に人は皆彼は死ぬであらうといふことを言つたが、結局タクシーの衝突で死んだ。

總てさういふやうに死んだ人のことを考へて見ると、クラシン、ブライアン、クーリッヂ等死んだ人は皆保守黨であつて、それを考へると初めて意味が分る。

總て反ボルシエビズム即ち反猶太の指導者達は死ぬといふ經路を辿つて居る。以上の實例の通ボルシエヴイキに反對した四十人ばかりの有名な人物の中で、現在迄生き殘つて居るのは二人だけで、其名前はジョン・デービースとハーバートフーバーである。總てボルシエビズムに反抗して政治的運動をやつた人は變死若くは急死して居ります。デヴイスとフーヴアーが生殘つて居る理由は、多分此の二人は注意深く大膽な

行動をやらなかつたといふことにあるらしい。大膽な者は例外なく死んで居る。

又死因を調べて見れば十五人乃至二十人の中の一人か二人かだけが、タキシイの衝突で死んだだけであとは心臟病である。

之に反して自由黨及びボルシエヴイキ側の者は皆生きて居る。即二十五人の反ボルシエヴイキと二十五人のボルシエキストを較べて見ると、前者は皆變死して居るが後者は皆生きて居る。是は外の國に於ても皆同じ事であらうと思ふ。

○オリンピツク東京大會を怖れる

先の會長が死んでから亞米利加に於けるオリムピツク委員

長は猶太人である。是は日本人に取つては非常に大事なことであるが、恐らく千九百四十年のオリンピック東京大會には亞米利加の猶太人は亞米利加の選手が日本に來ないやうに運動するであらう。それは日本と獨逸との政治上の關係がある爲に、獨逸に對してやつた如く、言論戰、新聞戰に依つて新聞を利用して其の運動を勸告するであらう。猶太人は日本に對しては何時でも今でも非常に惡く宣傳し噓を言つて居る。それだから彼等は亞米利加人が日本に來て實際日本を知るといふことを非常に好まない。獨逸に行くことに反對したのも同樣の理由からである。

○猶太人の打つ手と二重政策

（一）　亞米利加の民衆の意見といふものは先づ半世紀程前から漸次猶太人に依つて牛耳られて來つゝあつた。

（二）　世界大戰が始つた時に、彼等は親獨論を盛に宣傳した。それは露西亞の皇帝を獨逸をして倒さしむることを希望したからである。二十世紀の初めから猶太人の目的は帝政露西亞を倒すことであつたので、世界戰爭の初期には之を倒さんが爲に親獨論を宣傳したのである。

（三）　其の露西亞皇帝がやつ付けられ露西亞に猶太系の政府が建設されてからは反獨論に變つた。即ち初めは親獨論を宣傳して獨逸をして露西亞を打たし、其の露西亞に猶太人の革命政府が出來ると、今度は反獨の宣傳をして亞米利加を戰爭に參加させて獨逸を倒した。そこで二つの國が猶太人に依

註　猶太人が共産主義を一向危險視せざる理由。

つて倒されたのである。さういふことは桑港の猶太人新聞ユーマニテに出たことであるが、新聞に書いたものに依ると、露西亞をやつ付けたから今度は英吉利方に付いて英國と協定し、米國と共に組んで獨逸を打つ爲の計畫を立て、遂に成功したといふ風に發表して居る。要するに非猶太人を憎むといふ傾向を示して居る。（註　プロトコールの條項通りを實行している）

（四）　それに付ては自分はよく人の云ふのを聞いた。

即ちボルシエビズムは反資本主義であつて、吾等が渡せば彼等が受取るといふのであつて、渡すのは亞米利加人並に非猶太人であり、受けるのが猶太人である。吾々が渡せば向ふが取る要するに猶太人がそれを皆受取るのである。猶太人がボルシエビズムを利用するのは非猶太人の國體政體幷に資本

を倒す爲めの手段である。此れが猶太運動の最も重要な一の點である。

（五）　それから日本は資本主義の最も良き手本である。それが非常に旨く運轉されて居るから、日本の完全な資本主義の良き運用に對して彼等は非常に反感を持つて居る。從て日本を非常に憎んで居る。

（六）　亞米利加では平和論が盛である。其の指導者は猶太人であることは申すまでもないが、今其の平和運動を起して、ラヂオなんかでも盛に宣傳して亞米利加人に加入を進めて居る。併し是が一度組織が出來て大きくなると今度は其の平和運動の敵は獨逸と日本であると唱へる事になる。結局反日獨といふことになる。

（七）この平和運動は結局戰爭をさせることが目的となりそれに依つて、自分等の最後の目的を達しようといふのである。將來斯ういふ口實の下に戰爭をさせる、即此の戰爭は例外である、吾々の平和が脅威されたから平和の爲に戰ふのであるといふ所に持つて行かうといふのである。是は千九百十六年の時に亞米利加を參戰させたやり口と同じである。此の事は日本に取つて非常に大事なことであつて、色々な陰謀が皆猶太人に依つてなされて居る。

さうして過去二十五年間猶太人は各國をコントロールし、戰爭を以て彼等を互に爭はしめ、自分は裏で軍需工業商業並に金融の力で支配權を握つて來て居るのであるが、其の間の經過は要するに猶太人支配の國をして猶太人の支配でない國

に對して戰爭を仕掛けて來て居る。猶太人の支配して居る國は今では亞米利加、英吉利、佛蘭西、露西亞であり、支配して居ない國は日本、獨逸、伊太利である。

（八）今トロツキーはメキシコに於てスターリンに對して新聞戰をやつて居る。其の目的は亞米利加に居る猶太人をしてスターリンが反猶太主義者であるといふことを知らせる爲である。

（九）若し是が亞米利加の猶太人に知れたら、亞米利加の猶太人は反スターリンになる。さういふことになると其の間丈けは亞米利加は當分親日的になるだらう。それは日本を利用してスターリンを倒さんが爲である。今亞米利加の猶太人はどんなことになるか又、日本がスターリンを打つ爲に利用

出來るかどうかといふことを考へて居る。

（一〇）　それで目下亞米利加は半分は親日であり、半分は排日で今どつちに決まるか知らんと待つて居る譯である。

註　此の問題は現下の支那事變に關係して考察を加ふるべきである。當學會の調査によれば今英國は支那に約七十億萬圓の借款ありと見ている（一九三三年、レーマーの調査で約四十億萬圓共に加ふるに爾來約三十億萬圓を支出している）立場から此の事變に對して支那側に立たねばならぬ事情からでもあらうが國内に反日宣傳がかなり猛烈である。

米國は表面政府は中立を守つているが國内の言論機關は一部を除く外反日氣分が横溢している、佛國亦然りは當然である。

我等の見る處は英米は裏で共同動作を取りつゝある事は云ふ迄もないが表面は米國を取り敢えず中立的立場に置いて、何時でも英米が共同して反日に向ひ得る樣米國内の情勢を誘致しつゝありと思ふのである。此については歐洲大戰に於ける獨逸に對する米國の態度の變化を想起する必要がある。乍併支那事變の進行如何によつて日本の優越が動かすべからざる時は日本と妥協して英米の支那に於ける地位を確守せんとする斡旋者ともなり得る樣に米國が置かれて居る樣に見へるのである。處で若し此の事變の成り行き上、彼等が日本壓迫に出づる必要を感じた時は恐らく英米のみならず佛蘭西の外に更に蘇聯を誘同して來る事は覺悟して然るべきである。

殊に今回の蘇支協定は在支猶太財閥斡旋によつて成立した事は支那よりの情報に明かである。從つて支那經濟獨占を目指す猶太財閥に日本との妥協は非常に困難と思はれる。

そこで今蘇聯内に於ける大露西亞人と猶太人の民族的爭闘からスターリンが大露西亞人側から强要されて稍反猶太人的に傾いている昨今、米國の猶太人がスターリンに對して反感を有する事は當然であるが、乍併支那事變の如き彼等英米猶太人にとつて重大なる關心事が突發した今日彼等は寧ろスターリンと妥協して蘇聯の支那援助を徹底せしめ、又滿蘇國境の紛爭を激發せしむる事に出でつゝあるかも計り難いのである。殊に地中海問題を穩便にせんとする英蘇の微妙なる接觸並に先般英國が蘇聯に對し一千萬磅のクレヂットを與へ、又昨今の英蘇間の密接なる關係について見るも、我等は注目を怠る事が出來ないものがあるのである、從つて此點について〇氏の此の(九)の意見は現今の事情に照して尙考察する必要があるのである。

〇猶太人は戰爭で儲けるが軍人には不適

猶太人は戰爭に依つて利益を得て來た。戰爭があると兩方から儲ける方法を執る。兩方を利用して商賣して儲ける。

又戰爭に負けた方には革命を起して、猶太人が政府を乘取る。

世界大戰の時に猶太人は戰線に送られると敵の陣中に逃込んで行き、自分はそちらの國の者であると稱する。厭々出て來たのであつて自分は戰爭を欲しないのだと言ふ。そこで露西亞では一つの方法を考へた。卽ち猶太人の軍隊を土耳古に向つて差向けた。土耳古人は猶太人を非常に憎んで居るから彼等は土耳古に逃げて行くことを恐れてさういふことが出來なかつた。

○宗教改革の眞相

宗教改革の裏面は餘り知られて居ないが、あれは猶太人が

注　註猶太運動の根源は猶太教なり

カトリツク教會を支配するやうになつて來たのに對してマルチン・ルーテルが反對した所の運動であつた。西班牙で迫害されて彼等猶太人は皆カトリツク教に吸收されクリスチヤンを粧うて祕密には猶太教を守つて居つた。さうしてカトリツク教會に入つて其の要職に就いて居つた。要するに宗教改革といふものは、猶太人のカトリツク教會侵蝕に對する反抗に過ぎないのであるが、多くの人は此の裏の事實を知らないやうである。猶太人は猶太教から絶對に離れるものではない。

○　○氏の話は此れで一應終つて、それから談話會に移つて行つた。(問は會員であり答へは○氏である。)

○アメリカの將來

註　赤になると云ふ事は即共産國家になると云ふ事ではない猶太化されると云ふ事である。

問　亞米利加の勞働問題の將來をどう思ふか。

答　今の儘で過したら猶太人が勢力を得て二三年中に赤になるであらう。之に反し猶太人を追拂ふことが出來れば亞米利加は非常な繁榮を來し、日本とも親日的となる。勞働運動は赤旗であらう。

○何故今迄此の問題が喧しくならぬか

問　何故今日まで此の問題が喧しくならなかつたか。

答　理由は二つある。先づ第一に宗教が影響して居る。教會で我等は（自由主義の下に）皆同胞主義を實行しなければならないといふことを教へられて居り、そこに猶太人の宣傳が入つて猶太人の爲に利益になるやうな教育がされて來

たといふことゝ、もう一つは基督教といふものは猶太人の世界から出發したものであるからして、聖書の或る部分には猶太人の文章も包含されてある譯である。それで自然に教會の人は猶太人に對して曖い態度を持たなければならぬといふことを教へられて來た。さういふやうに宗教的なといふことが彼等の爲には大いに都合の好いことであつた、新聞並に印刷所を殆ど獨占している事が根本にあることは云ふ迄もない。

○アメリカは猶太人をどうするか

問　亞米利加では猶太人をどういふ風に處理する考であるか。

答　○○○○を取らざるを得まい。其の上で世界會議を開か

ねばならぬ。併しそれは容易な事ではない。今のアメリカは猶太人に牛耳られつゝある。例へばルーズベルトが大統領になつた時に外國への使臣は皆猶太人であつた。千九百三十三年モスコーにブリツト、シユトラウサーを巴里に、シユタインハルトをストツクホルムに、モリスをブラツセルにそれ〴〵送つたが何れも猶太人である。又故ベルンシユタインも猶太人である。

かやうに猶太人が亞米利加に於て如何に大きな權力を握つて居るかといふことを亞米利加の大衆が悟つたならば、彼等は直ちに猶太人排擊の爲に立つであらう。言論機關を猶太人に握られてゐる今日のアメリカ人は殆どそれを知らない。彼等が爲しつゝあることを知られゝば彼等は壞滅の運命に遭ふ

であらう。それには第一に米國民の敵猶太人は力を持つて居ることを知らせること、第二は其の力を亞米利加に對して恣にして居ることを知らせることであらう。

○猶太人の最大弱點

問　猶太人の一番大きな弱點は何であるか。

答　一番弱い點は今世界で彼等が爲しつゝある業績そのものが即ち之れである。

この猶太人の業績は專ら猶太教に由來して居るのであるがその猶太教といふものは非常に頑固な祕密的な宗教であつて、基督教のやうに聖書を幾萬と公に配るやうなことはしない。全部ヘブライ語で何でも濟ましてしまふといふ行

き方であつて、總ての儀式が祕密に取行はれると云ふたちの宗教である。

それから其の教理其のものが斷然猶太教的であつて、例へば、中命記といふ律法には病氣で死んだ動物は決して猶太人には賣つてはいけない、併し異邦人には賣つても構はない。猶太人に對しては金の利息を取つてはいけないけれども異邦に對してはどん〳〵取つても宜い。又異邦人の處女を犯しても罪ではない、唯猶太人の娘を犯した場合のみ罪があるといふ風に、彼等に都合の好い、さうして猶太人としての團結を强化出來るやうな律法が彼等の間に嚴然とあるといふこと、それから「エリ・エリ」といふ猶太人の祈禱がある。それは音樂會などで能く歌はれるが、其の內容

註　自ら武力なき猶太人は相手國の國家的團結による力の發動程恐れているものはない、殊に猶太人の力を借りさる力を惧れている。

は猶太人の異邦人に對する復讎の完成を歌つたものである。それでそれを聞いても意味が分らないから亞米利加の聽衆はそれに對して手を拍いて居る。又、コル・ニドレーと云ふ祈禱はビューリムと云ふ祭に歌はれる祈禱文であつて、其の祈は來るべき年に猶太人が語る噓言に對して許しを願ふ所の祈禱であつて、それは次のやうなものである。

May all oaths, and all vows, which we may mkae in the year to come be rendered not binding, and be as nothing.

さうしてボルシエビズムがこの猶太人の武器である。結局他民族の民族的傳統的なるものを破壞することが彼等の目的である。他民族のディグニチーを破壞する。亞米利加

に於ても陸軍、海軍は傳統的文化や歴史を皆破壞して行くのである。

此の獨善的で排他的な猶太教から來る彼等の行動が結局に於て彼等を亡ぼす事にならう。

○猶太教は惡魔の教である

問　猶太教の教理は人間生活に於てそれが正義であるか不正義であるかと云へば明に不正義である。詰り是は正義の神でなくて惡魔の神の教である。だからそれを倒すだけの強い正義の神の信仰の力がなければ此の猶太人を滅すといふことは困難である。斯ういふことが第一に考へられますが。

答　巧な嘘をついて正直な人を欺いて成功して居る。正直な

人は不正直な人をそこまで持つては行けない。不正直が正直を引下げてしまつたのである。

問　けれども眞に信仰の本體が正しければ、結局其の正義が榮え不正義が倒れるといふことになる。自分は基督教のことは知らないが、基督教に若し本當に正義があるならば、猶太教は結局基督教の正義を本當に汲取ることが出來る筈であり、さうなれば猶太教を倒すことも出來るといふ宗教的な問題が有り得る譯です。基督教でそれが出來ないか。

其の次に猶太教の本髓は結局惡魔の教であるといふことは今更言ふまでもない。それは何故かと言ふと、力を用ひること、それから自己の民族の利益の爲には有ゆる他民族を犧牲にする。斯ういつたやうな教が何時までも榮えると

いふことは有り得ないのである。是が榮えるといふことは此の猶太教を滅ぼすべき基督教の正義を大勢の人がもつと汲取ることをしないからではないかといふことに付て吾々は基督教に對して或疑を持つ。

答　確にヒトラーのやうな風に政治經濟の改革が行はれる爲には、先づ國民が道德的新生をしなければそれが實現し得ない。確にさうである。亞米利加に於て眞實である。併し亞米利加に於てはそれだけの自覺がない。

○日本の正義の力は最も強い

問　そこで第二の問題は正義の力、正義といふ一つの理想を發見し其のレールの上に吾々が乘ることが必要である。そ

れに對する力を吾々が用ひ、さうして國家的の團結の力に依つて之を排撃するといふ力、所謂孔子の言はれた如く不正に對するに「直」を以てせらるべきである。此の正義のレールの上に乘つた所の力を用ひて行かねばならぬといふことを第二に吾々は考へる。

答　要するに日本人は、自然に對する洞察、宗教的な慈悲に對する感得、さうしたものが猶太人と全然違ふ。此の事は非常に吾々の心を慰める。

問　そこで先生に此の際最後にお願したいのは、日本の今後の國際的な進み方に付て是非とも知つて戴きたいことは、日本の本當の中堅層を成し、日本の現在及將來を動かして行く日本人は絶對に正義のレールから外れた行き方はしな

いといふことを念願して居ることである。又そんな外れた行き方は將來絶對に有り得ないと信ずる。此の點をはつきりもう一遍認識を強めて戴きたい。それは日本の歷史に秘密がないといふことそれである。日本の歷史は誰が聞かれても、誰が讀まれても、昔から今日まで正しいレールの上を各人が步いて來た歷史である。又今の吾々は次に來る人に此の心を移して皆進んで行くのである。此の歷史に秘密がないといふことを能く知つて戴きたい。

答　要するに猶太人の恐るべき暴力に對して一國だけがそれに進まないで殘つて居るといふことは出來ないのであつて各國が猶太人に征服されゝばされる程結局日本も征服されるのであつて、其の意味に於て各國の愛國者が同じ目的の

爲に協力しなければならぬ。吾々は皆同志の友である。吾々は他の國民であるけれども、日本が唯一の正しい戰を爲し得るものであるといふことを信ずるからして、吾々の同志に民族や國を超越して日本に對し援助するといふことを傳へるであらう。

問　日本は明治維新以來受けた文化中に非常に猶太文化の影響の多かつたことを初めて知つた。今それの訂正運動をやつて居る。御承知の〇〇事件、〇〇〇事件といふやうな事件が起るのも、詰りは其の訂正運動の一方の現れである。

現在の世界に於て大きな問題は猶太人問題であつて現在日本が當面している支那事變も西班牙事件も皆猶太イズムから起されたもので、即ち猶太イズムに對する戰ひである、

此の猶太主義と本當に戰ひ得るものは吾々日本人であるといふことを今吾々は感じつゝある。日本に於てこそ猶太人と決戰を交へ得るといふ資格を持つ。それは宗教的に、精神的に彼等を壓迫し得る信念を持つて居る。乍併同時に彼等に猶太教の非理を徹底的に改善なさしめて彼等を救はんとする信念を我等は持つている。

○日米親善の大道

答　日本は如何なる國よりも良く猶太人と決戰する資格を持つて居る。恐らく猶太人に對する資格を持つ國として日本が最初のものであらうと私は信ずる。亞米利加に於ては亞米利加人の善良と愚鈍さと利口と、さうした有ゆるものが

此の問題の把握を妨げて居る。餘りに深く入り過ぎて居るから遲いんではないかとも思はれる。結局日本が猶太主義に勝つことが吾々の爲でもある。日本は數十年後には偉大なる影響感化を世界に及ぼすであらう。

問　結論は結局猶太イズムに對して本當に亞米利加人と吾々は共同の戰をしたいと思ふ。此の事は吾々が生きて居る間のみならず、吾々の子孫にも傳へて行くべき問題である。斯くして共同の戰を本當に持つた時にこそ兩國は共存共榮となることを堅く信ずるのである。今日は先生が斯ういふ話をし得る人であるといふことを非常に嬉しく思ふ。今日のお話は私共に取つて嘗てなき喜びであつたといふことを厚く御禮申上げる次第であります。互に手を携へて行きた

いものである。

答　猶太人に關する印刷物、例へば本であるとかいふものが最近能く盜み取られる。教科書でも總て猶太人に關するものが能く紛失する。又湮滅する傾向があるが、吾々は之を補塡しなければならぬ。

問　日本でもさういふ傾向があるやうです。

（終）

◇猶太人は英國の政治樞機を握つて居る。

軍艦足柄に便乘して訪英せる藤澤親雄氏に對し語れる英國インピリヤル　フアツシスト　リーグの指導者アノールド・リース氏の談

英國に於けるフアッシズムは、消極的にはデモクラシーに對する愛國的反抗であり、積極的には眞のステーツマンシツプを復興創造せんとするものである。我々フアッシストは、猶太財閥に依つて代表せられる金權政治に對抗して『英國人の爲の眞の英國政府』を再建せんとするものである。

我々は猶太的デモクラシーのスローガンである自由平等博愛を否認する。我々は英國民の高貴なる歴史傳統の裡に涵養せられ繼承せられて來た人種的本能（レーシアルインスチンクト）をあくまで尊重し之を保持せんと欲する。この本能の命ずるところ、人間は決して平等なるものではなく、先天的に決定せられた指導者と被指導者との素質的區別が、自然と認識せられなければならない。

従つて我々の敵は、人類平等主義と僞善にみちた國際主義の美名にかくれて英國大衆を搾取し、且つボルシエヴイズムと國際聯盟と國際決濟銀行と金本位制とを自己の武器として各國民の個性を破壞せんと欲する猶太人である。今日英國と佛國とが提携して居るのは、決して眞の民族的提携ではない。それは兩國に於て政治の樞機を握つて居る國際的猶太財閥の結束に外ならないのである。

英國が東洋に於て帝國主義的政策をとつて居るのは、本來の英國民族の意圖するところではなく、その實猶太人が英國の名に於て行つて居るのである。若し自分達が政權を取るならば、オーストラリアの如きは、日本に割讓してもかまはない。

――(終)――

昭和十二年十月八日印刷
昭和十二年十月十二日發行

非賣品

轉載嚴禁

編輯印刷兼發行人　東京市麹町區內幸町幸ビル　柳沼七郎

印刷所　東京市京橋區築地四丁目四番地　中屋三間印刷株式會社

發行所　東京市麹町區內幸町幸ビル　國際政經學會
電話銀座一二一八番

國際政經學會ノ事業ノ梗概

一、本會ハ猶太問題ニ關スル研究調査、國內竝ニ對外連絡及情報報道ヲ會員ニ行フヲ目的トス

二、本會ハ本會ノ目的ヲ達成スルタメ左ノ事業ヲ行フ

イ、國內及海外ニ於ケル事情ノ研究調査

ロ、國內及海外ノ所要ノ向ト連絡

ハ、研究會、座談會等ノ開催

ニ、機關誌、圖書、冊子等ノ刊行

ホ、講演

ヘ、其他本會ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル事項

三、本會ノ經理ハ會費及會員ノ醵金ヲ以テ之ニ充ツ

四、本會ニ入會スルニハ會員ノ紹介アルヲ要ス

政經書房　國際秘密力研究叢書　續刊書目

著者	書名		内容
長谷川泰造著	國際秘密力の話	印刷中	猶太人が世界を動かして居る事實を精細明確に報告したもの
フォード著　包荒子解說	世界の猶太人網	近刊	自動車王ヘンリーフォードが猶太人の執拗なる謀略を完膚なく素破拔いた快著
ドイツ　フイヒテ協會編	ドイツはソ聯を如何に觀るか	近刊	ソ聯のはらわたまで見拔いて居るドイツ專門家の手に成る徹底的暴露書
政經書房編輯部譯	第二世界大戰が起る	近刊	猶太事情の表裏を最も確實に摑んで居るカトリック教機關紙の警鐘
長谷川泰造著	シオンのプロトコール	近刊	猶太人の大陰謀計畫と爾後の事實を照合したる世界的快文書



◇紀元前九百二十九年猶太聖賢等は『標象の蛇』なる狡智に依つて平和的に世界を征服する政策を考案した。蛇の頭は聖賢の世界政策を委任された猶太政府で其の胴體は猶太人民である。此の蛇は最も正確に遺漏なき計畫に依つて、各國の胸部を貫いて進んで行く。卽ち蛇道に當つた國は精神の墮落及道德の敗頽を來し、革命を惹起し經濟的に崩壞して亡んで行くのである。而して蛇の頭をシオンに回歸して首尾相接合する時が、卽ち全世界を擧げて猶太王の君臨する時であると謂つて居る。今や此の『標象の蛇』は彼等の所謂天命の蛇道を我が帝國に向けて居る。上圖は卽ち之れを表はしたものである。